

区政会議における意見への対応状況
(令和3年度第2回区政会議(令和3年12月)での意見に対して)

参考資料2

	意見内容	委員名または 部会名	担当課	対応方針
1	東成区ハザードマップを見ると、大雨が降ると3~5m浸水する地域があるがどう取り組むのか。	にぎわい・きずな部会	市民協働課	コロナ禍の状況も踏まえ、3階以上の建物、安全な親戚や知人宅など、分散避難の啓発に取り組んでいく。そのうえで、家庭での備蓄や災害情報の入手方法についても広報紙等を通じて周知していく。
2	避難所の備蓄物資として、地域でどういったものを備えておくべきか。	にぎわい・きずな部会	市民協働課	本市で配備している備蓄物資と重ならないよう、金銭面も含めて効果的な備蓄物資について、区役所から助言を行う。
3	避難所の備蓄倉庫が1階だと浸水して使えなくなる。	にぎわい・きずな部会	市民協働課	1階にある備蓄倉庫については、3階以上に移設することができないか、学校と協議を進めていく。
4	安全・安心啓発に係る動画作成とはどういったものか。	にぎわい・きずな部会	市民協働課	コロナ禍で直接的な啓発が困難なため、住みます芸人を活用した啓発動画の作成を検討中である。
5	自転車利用マナーアップの取組内容は。	にぎわい・きずな部会	市民協働課	鶴橋駅を中心に展開するほか、広報紙を活用し広く区民に啓発を実施している。
6	地域活動協議会の役割や位置づけがわかりにくい。	にぎわい・きずな部会	市民協働課	連合町会や社会福祉協議会を中心にさらに多様な主体が参画し、多様化・複雑化する地域課題を解決するために設置されたものである。
7	地域活動協議会に関する補助金の執行について、年度繰越など柔軟な利用はできないか。	にぎわい・きずな部会	市民協働課	補助金については、税金であるので単年度の執行が原則である。
8	子どもたちの読書活動の推進において、いきいき活動との連携のみでは、利用者が限られるので学校と連携した取組が必要ではないか。	子ども・教育部会	市民協働課	いきいき教室との連携は読書活動推進に向けた取組の一つであり、既存の取組と合わせ、複合的に実施していく。
9	スマートフォンが普及している中、子どもたちの読書活動を推進する上で電子書籍の活用が有効である。	子ども・教育部会	市民協働課	電子書籍の活用については区としても重要であると認識しており、今後の事業実施に向けた検討をしている。
10	モノづくり教育への取組においては、大規模での実施が望ましい。	子ども・教育部会	市民協働課	モノづくり教育に資する事業として、親子参加型の「工場見学」と、企業が出展し、例年約600人の参加を見込む体験型の「こどもモノづくり体験フェスタ」を実施・企画している。
11	子どもたちの運動できる場所や機会が少なくなっているため、学校施設を開放してボール遊び等の場に活用できないか。	子ども・教育部会	市民協働課	学校施設を開放し、運動する機会を設けるため実施している「学校体育施設開放事業」「生涯学習事業」を地域の皆様と共に継続し取組を進める。
12	子育て支援において、コロナ禍の影響で読み聞かせの場が減少しているため、増やしてほしい。	子ども・教育部会	保健福祉課 (児童保健)	子育てサークルや子育て支援拠点事業等において、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら、可能な時に絵本の読み聞かせや読み聞かせ支援ボランティアの利用を進めていく。
13	すくすくつながるクラブの登録者をふやすため、より一層の啓発が必要ではないか。	子ども・教育部会	保健福祉課 (児童保健)	引き続き、区HPや広報紙への掲載に加え、乳幼児健診や母子手帳交付時、各種イベント等さまざまな機会での効果的な周知について検討する。また公共施設など子育て層が良く利用する施設でのリーフレット配架等周知についても検討する。
14	すくすくつながるクラブの利用者が早く登録カードを利用できるよう、登録カードの受け渡しがスムーズに行える工夫や受け渡しを行っている主任児童委員の周知活動を行ってほしい。	子ども・教育部会	保健福祉課 (児童保健)	区HPや広報紙への掲載に加え、乳幼児健診や母子手帳交付時、各種イベント等さまざまな機会での効果的な周知について検討する。
15	コロナ禍で外出を自粛する保護者同士が、オンラインで気軽に情報交換が行える仕組みがあればよい。	子ども・教育部会	保健福祉課 (児童保健)	子育て支援関係機関との情報交換を行いながら、保護者のつながりづくりのための方策を検討する。

	意見内容	委員名または 部会名	担当課	対応方針
16	地域福祉活動を知らない人も多く、活動内容や相談先をより一層啓発することが重要である。例えば、地域の人がよく利用する場所などにパンフレットを設置してはどうか。	保健福祉部会	保健福祉課 (福祉)	地域活動への関心を持っていただくため、「地域活動へのお誘い」という標題のちらし等を区役所１階で配架している。また、前年度 70 歳になられた区民の方（約 1000 人）に「おまもりネット手帳・カードの周知ビラ」とともに、地域福祉活動等の紹介のために上記ちらしを添付して送付している。
17	男性の独居高齢者が引きこもって孤立しないよう地域活動に参加してもらえるような工夫が課題である。	保健福祉部会	保健福祉課 (福祉)	東成区では、将棋や囲碁、男性による調理実習、男性喫茶など、男性が参加しやすく、参加者同士の交流が深まる活動を実施されている地域もあると聞いている。このような取組が一層広がっていくよう、各地域の方々や地域福祉活動サポーター等とも協働しながら情報の共有化を一層推進していく。
18	若い世代への食育を継続することが必要である。	保健福祉部会	保健福祉課 (児童保健)	引き続き、中学校での食育講座など若年層への啓発に取り組んでいく。
19	食育イベントにおいて、出来合いのおかずにし少し手を加えることで栄養バランスが整う工夫などを、栄養や健康に関する相談や助言を受けることができるコーナーを設けてはどうか。	保健福祉部会	保健福祉課 (児童保健)	栄養や生活習慣病に関する相談ブースや「ちょい足しレシピ」の配布等を検討する。
20	人権は年齢、性別、人種など解決すべき問題があるので、学生だけでなく区民向けのセミナーやリーフレットの作成に取り組んでいただけたらすばらしい。	三浦委員	市民協働課	人権課題は多岐にわたるため、今後も一般区民向けを含め、さまざまな人権問題の啓発に取り組んでいく。
21	広報紙において、色々な活動に取り組んでいる団体を、ビジュアルを用いて掲載するなど工夫することで、魅力ある紙面になるのではないか。	三浦委員	総務課 (総合企画)	広報紙は区政を区民の方に分かりやすくお伝えする広報媒体である。紙面に限りがあるが、非常に重要であるので、掲載を検討していく。
22	主任児童委員は幼児や園児だけでなく、成人するまで地域の子どもを見守る立場である。学校などに対して子どもに関して活動していることを周知いただきたい。	土田委員	保健福祉課 (児童保健)	区ＨＰや広報紙への掲載に加え、各種イベント等さまざまな機会での効果的な周知について検討する。
23	学校における人権問題に関して匿名で相談できるような仕組みがあれば悩んでいる方の救いになるのではないか。	大西委員	市民協働課	教育委員会が実施している LINE やメールでのいじめ等の相談は匿名で利用可能であることから、区ＨＰ等を活用し広報を行っていく。
24	道路と歩道のわずかな段差（２センチ程度）があり、高齢者にとっては自転車で転倒する危険がある。だれもが安全に通行できる道路環境に改善していただきたい。	小山委員	総務課 (総合企画)	定期的に区内関係行政機関の連携を図る行政連絡会議を開催しており、ご意見は道路を所管する建設局に伝える。
25	公園のベンチが撤去され、憩いの場である公園で安らぐことができない。	小山委員	総務課 (総合企画)	定期的に区内関係行政機関の連携を図る行政連絡会議を開催しており、ご意見は公園を所管する建設局に伝える。
26	公園の石製のベンチについて、冷たいので木製にしていきたい。しかし、木製にするだけでは雨が降った後に座りづらい問題もあるので、屋根をつけるなどの対策も合わせてできないか。	橋本委員	総務課 (総合企画)	定期的に区内関係行政機関の連携を図る行政連絡会議を開催しており、ご意見は道路を所管する建設局に伝える。